

コース名	中小企業大学校サテライト・ゼミ with さいたま商工会議所 若手リーダーとしてのステップアップ研修 ～組織を引っ張る「原動力」となる！～				
研修のねらい	厳しい経営環境の中で企業が将来にわたって発展し続けていくためには、組織の力を磨いていく必要があります。そのためには、企業の未来を支える若手社員が自律的、積極的に業務を推進し、リーダーとして活躍できる能力や個性を高めていくことが重要です。 本研修では、将来、組織の中心となる若手リーダーが、周囲に積極的に働きかけ、チームの目標達成を推進していくために、上司の補佐や後輩・部下指導のスキル、チームでの仕事の進め方について学びます。また将来、組織の中心的存在となるために、「理想のリーダー像」を検討し、今後の行動プランを考えます。				
研修の特長	・ 若手リーダーとしての立ち位置を理解して、職場の中核的人材へ成長するための意識改革につなげます。 ・ 後輩指導のポイントや上司との連携について演習を交えて学びます。 ・ チーム内のまとめ役として、周囲を巻き込みながら、仕事を進める方法について理解します。				
会場	ソニックシティ 604会議室（埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5-6F）				
研修期間	2025年6月24日(火曜)～6月26日(木曜)〈3日間〉 (詳細)第1回2025年6月24日(火曜),第2回6月25日(水曜),第3回6月26日(木曜)				
対象者	管理者候補、新任管理者 ・ 職場やチーム内に後輩や部下がいる方 ・ 次代の管理者としての役割が期待される方 ・ 自身の仕事に対する意識や行動を変えたい方 ・ あらゆる業種の方が受講できます	定員	15 名	受講料	29,000 円

日付	時間	科目	内容	講師
6/24 (火)	9時20分～9時30分	オリエンテーション		菅生 将人 中小企業診断士・調理師
	9時30分～16時30分 (昼休 12時30分 ～13時30分)	若手リーダーに求められる期待と役割	組織人としての認識を深めるとともに、自分自身の立ち位置をとらえ直し、若手リーダー（管理者候補）としての自覚と求められる役割を認識します。 ・ 組織人としての認識を深める ・ 若手リーダーに求められる役割と心構え ・ 自身の振り返り（自己理解）	
		組織の力を引き出すフォロワーシップとリーダーシップ	上司や部下との関わり方を学び、若手リーダーとしての行動スキルを身に付けます。 ・ リーダーシップとフォロワーシップ ・ フォロワーとして上司を補佐する ・ リーダーとして後輩（部下）を指導・支援する	
6/25 (水)	9時30分～16時30分 (昼休 12時30分 ～13時30分)	チームでの仕事の進め方	組織の目標をメンバーと共有し、有機的にまとめていくための基礎となる、目標の共有や周囲とのコミュニケーション方法、仕事の進め方を学びます。 ・ 目標の共有と周囲との関係づくり（コミュニケーション） ・ チームワークを発揮する仕事の進め方 ・ チームの成果を発揮するファシリテーション	
		部下・後輩への仕事の教え方	組織が成果を上げ続けていくためには、新人や後輩をいち早く戦力化させることが重要です。人材育成の基本となるOJTの手法を学びます。 ・ OJTの理論と手法 ・ 部下の性格・タイプに合わせた適切な指導とアドバイス	
6/26 (木)	9時30分～16時30分 (昼休 12時30分 ～13時30分)	「理想のリーダー像」と今後の自身のキャリアプラン	研修を通して学んだ若手リーダーとしてのスキルやノウハウを振り返り、自身の目指す「理想のリーダー像」を検討し、今後の行動プランを考えます。 ・ 「理想のリーダー像」の検討 ・ 今後のキャリアの歩み方 / 自身のスキルの磨き方 ・ これからの行動プラン	
	16時30分～16時40分	修了証書の授与		

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

講師氏名	略歴
菅生 将人 (すごう まさと) 中小企業診断士・調理師	大学卒業後、総合物流企業、食品メーカー、築地市場内荷受に勤務し、主に企画営業・リテールサポートを担当。中小企業診断士の資格取得をきっかけに、2011年に独立。横浜市の地場コンサルティングファームの役員を経て、現在は個人として中小企業支援活動に従事している。営業支援はもちろん、自身の経験を活かした創業支援や、新入社員研修・若手リーダー研修を得意とする。2016年より、家業である株式会社菅生食品（魚介類卸売業）の代表取締役も務める。中小企業大学校講師、東京電機大学創業支援施設インキューションマネージャー。